

「長崎県総合計画みんなの未来図2030」 個人ワークシート

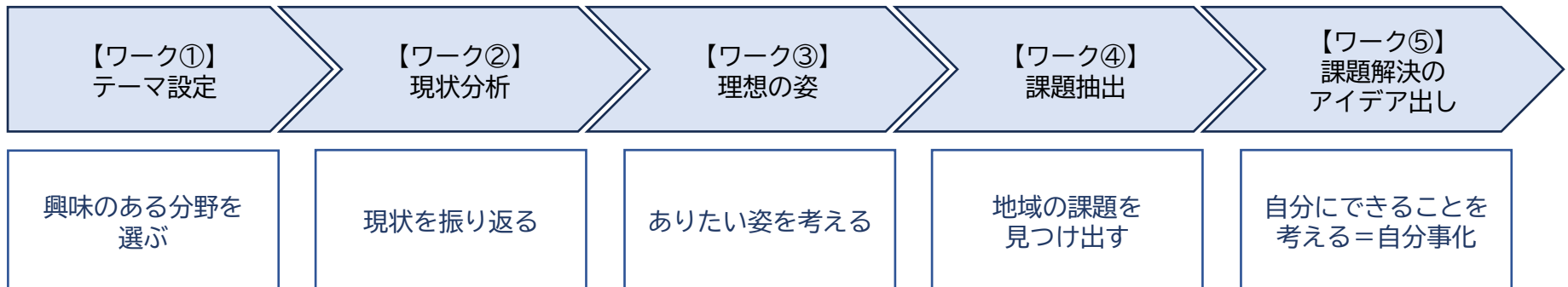
このワークの目標

- 長崎県総合計画を身近に感じる
- 地域の課題解決に向けて、自分にできることを考える

→ 総合計画を通して、地域課題を自分事として考えられるようになる



個人ワークシートのステップ



※適宜、前後左右の方と意見交換します。時間があれば、最後に数人発表いただきます。

ワークシート

ワーク① テーマ設定

総合計画の施策の中から1つを取り上げ、冊子の該当ページを読みましょう。

取り上げた施策：

ワーク② 現状分析

テーマの施策について、あなたや身の周りの人にとっていい影響とよくない影響を考えましょう。

ポジティブ（いい影響…便利、よくなったこと）

ネガティブ（よくない影響…不便、長年改善されないこと）

ワーク③ 理想の姿

テーマの施策について、どのような社会や状態になってほしいかを考えましょう。

ワーク④ 課題

現状と理想の姿のギャップから、課題となっていることを考えましょう。

ワーク⑤ 自分にできる解決方策のアイデア

課題を解決するために、あなたやあなたの身の周りの人が日々の生活の中でできそうなことについて考えましょう。

【メモ】

他の方の意見や意見を聞いて気づいたこと、感想などを自由にメモしましょう。

【ワーク①参考】総合計画冊子の見方

【基本戦略2】

希望が叶う「結婚、妊娠・出産、子育て」を切れ目なく支える

施策1 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための一貫した支援



施策(ワークのテーマ)

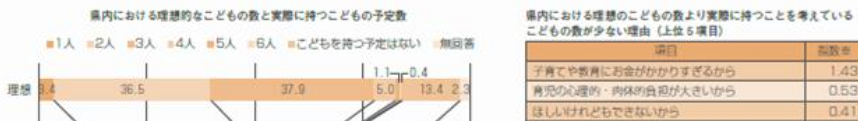
めざす姿

この施策の10年後のめざす姿

- 若い世代が自らの主体的な選択により、希望どおりに安心して、結婚や子どもを生ま育てることができる社会となっている。

現状・課題

- 個人の価値観の多様化による様々なライフスタイルが確立している。
- 晩婚化等による妊娠・出産・育児に係る医療体制の重要性が高まっている。
- 社会全体で結婚や子育てを応援する気運醸成と当事者や関係者の意識向上が必要となっている。
- 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を実現できる環境整備が求められている。



この施策の進み具合を計る数値目標

成果指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
「結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現に向かっていく」と思う人の割合	45.3% (R7年度)	70% (R12年度)
「自分の将来についての人生設計 [※] について考えたことがある」人の割合 <small>※仕事のキャリアだけでなく、結婚、妊娠・出産、子育て等の様々なライフイベントも含めて希望する人生を描くこと</small>	61.4% (R7年度)	70% (R12年度)
夫婦の予定子ども数と理想子ども数の差	0.39 (R6年度)	差の縮小 (R12年度)

めざす姿の実現に向けた取り組みのおおまかな内容

施策概要

- きめ細かな結婚支援、妊産婦や新生児の医療体制の充実、保育の担い手確保、持続可能な共働きの環境整備など、結婚から子育てまでの切れ目ない支援を行い、社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを応援する気運の醸成を図ります。

1 こども 2 暮らし 3 しごと 4 にぎわい 5 まち

1 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための知識の普及等と気運の醸成

県民が希望どおりに結婚、妊娠・出産し、安心して子育てができるよう、社会全体でそれらを応援する気運を醸成し、当事者や関係者への希望を叶えるための知識の普及等を促進するほか、市町に対し、地域の実情を踏まえた支援を行い、それぞれの取組を充実します。



若い世代に向けたライフデザインセミナー

- 「ながさき子育て応援の店[※]」などの登録等の推進による結婚、妊娠・出産、子育てに関する社会全体の気運の醸成や企業等による具体的な取組の促進
- 民間団体等との連携による子育てを応援する情報発信
- 若い世代へのライフデザイン[※]やプレコンセプションケア[※]に関する情報発信や研修等を通じた意識醸成
- 独身者及び親世代における現代の結婚事情に関する周知啓発と意識醸成
- 市町の独自取組の後押し

施策にばら下がる取組 (= 事業群)

指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
「ながさき子育て応援の店」協賛店舗の登録件数(累計)	2,557件 (R6年度)	2,857件 (R12年度)

2 結婚を希望する独身者への支援

独身者が希望どおり結婚できるよう、市町、企業・団体等との連携を深めながら、各主体における支援事業や県の取組との相乗効果により多様な出会いの場を創出します。また、若年層などターゲットを明確にした効果的な出会いの支援、相談窓口やセミナー等によるサポートなどを実施します。



- 県民のニーズを踏まえた結婚支援のあり方の見直し
- 長崎県婚活サポート官民連携協議会[※]を軸とした、官民一体となった支援体制の整備
- 県・市町、企業・団体等が実施する取組の相乗効果による多様な出会いの場の創出
- 地域、年代、職種などターゲットを明確にした婚活支援の「しかけづくり
- お見合いシステム[※]の運用や婚活サポーター[※]等による婚活支援
- 婚活相談窓口の相談機能及び結婚を希望する県民やその親などに対するサポート機能の充実

具体的に取組むこと

指標	基準値(基準年)	目標値(目標年)
県の支援事業による成婚数	87組 (R2~R6年度平均)	120組 (R12年度)

事業群の進み具合を計る数値目標

※ながさき子育て応援の店：中学校入学前の子どもがいる家庭を対象に、協賛店舗が提供するサービスや便利サービスを提供する店舗
 ※ライフデザイン：結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた人生の計画・構想
 ※プレコンセプションケア：性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えた健康管理を行うこと
 ※長崎県婚活サポート官民連携協議会：長崎県・市町、民間団体等連携して結婚支援事業を推進するため、構成団体相互の連携・調整を図ることを目的とする協議会
 ※お見合いシステム：長崎県婚活サポートセンターが運営している1対1のマッチングシステム
 ※婚活サポーター：県の結婚支援事業に協力しているボランティア

I 計画の策定にあたって
 II 目指す未来の姿
 III 戦略・施策
 IV テーマ別の取組
 V 地域別の取組
 VI 計画推進のために